

OASIS HEART

あなたの心地よい透析LIFEを創るニューズレター

Don't wait.
The time will never be just right.

透析医療 選択の科学II-⑩

あなたの選択は間違いではない

～ハーバード大学仕込みの指導教授が教えてくれたこと～

Wake-up REAL VOICE Vol.04 企業編

**「セルフ透析」を通して
「働き方改革」に踏み出そう！**

OCTOBER
2024

VOL.101



医療法人社団

Oasis Medical

OASIS HEART に関するお問い合わせ・郵送停止希望はこちらまでご連絡ください。TEL03-3823-9060

Oasis Heart 編集部 医療法人社団 Oasis Medical 内
〒114-0014 東京都北区田端 1-21-8NSK ビル 4F
TEL03-3823-9060 FAX03-3823-9061

東京新橋透析クリニック
TEL03-6274-6320 www.toseki.tokyo

田端駅前クリニック
TEL03-3823-9060 www.tbt-toseki.jp

透析医療

選択の科学Ⅱ-⑩

あなたの選択は間違いではない

～ハーバード大学仕込みの指導教授が教えてくれたこと～

私たちは常日頃から、あらゆる決断に迫られています。朝起きて、何を着るのか？ 通勤や通院の経路、ランチに何を食べるか？ 何時に自宅に帰るのか？ 夜はどんな TV を見るのか？ それとも SNS か？ などなど。これをお読みいただいているあなたは、日々の様々な決断とはレベルの大きく異なる「透析」という重大な決断をされたことと思います。

(Oasis Medical COO 櫻堂 渉)



ゼミで、教授はある企業のケースを取り上げ、どのような意思決定をしたらいいか？ ゼミ生一人一人を名指して回答を求めました。自分の順番を待ちながら、他のゼミ生から次々発言される、「確率の計算から合理的に導かれた、誰もが納得するいわばとても美しい答え」を聞きながら、「ヤバい、正直わからない」と頭の中が真っ白になりながらも必死に考えていました。

そしてついに私の番がきたときにとっさに出た答えは、他のゼミ生とは真逆で、数理的な説明はないものでした。美しいとは程遠いもので、私は「やらかした」、「これで成績は下がり、卒業が危ぶまれるかもしれない」、「あいつは馬鹿だ」と周りからレッテルを貼られるのではないかと、という恥ずかしい気持ち、不安、後悔でいっぱいになってしまいました。今でも思い出すと汗が出てくるほどです。

ところが、私の出した答えに対して、教授は全く批判しなかったのです。「どっちの答えでも良いんじゃない？」と煙に巻くように答え、

ゼミを終了したのです。合理的ではないものですが…。

最も確からしいと思うことこそが正しい

しかし今思えば、この出来事はとても示唆に富んだ指導だったと思います。教授は確率と統計に精通した専門家です。彼は、「数値を示されると、あたかも正しいかのような錯覚を生むが、必ずしも確率や計算による数値から導かれた合理的なものが正しい答えではない。その他の消費者の心理、市場の変化、競合相手の行動など数値化できないものの長期的な存在が重要」ということを教えたかったのです。

つまり、当たり前を疑い、必死に考え、最も確からしいと思われることが結論であるということです。また短期的には正しいと思われる決定でも、長期的に見ると必ずしも正しいわけではありません。

長期的な視点をもって選択する人、目の前の事象にとらわれる人

私はあるとき山を眺め発見したことがあります。同じ木の大きさなのに目の前の木は大きく見え、遠くにある森は小さく見えた、そのときから、人の意識も同じであると。

人間は間近にあるものや、時間的にも直近のものに意識の大半を傾け、遠くや長期的な視点に立つ事象は矮小化してしまいます。

この「人間の意識のクセ」を踏まえて「透析」について考えると、長期的な視点に立って選択するということが重要なのです。

つまり、他の透析方法と比較検討するということです。何も比較することなく、医師から目の前に差し出された「透析」を鵜呑みにしてはいけません。

Amazon.comの創設者のジェフ・ベゾスはこう語っています。「多くの正しい判断ができる人は、よく耳を傾け、よく自分の考えを変える人だ」と。

間違えた時こそが成功へのチャンス

「人間の意識のクセ」を考えた上で長期的視点に立つという話をしましたが、人の意思決定は完璧ではありません。だからこそ、どのように帰還すれば良いか？ という策を打つことも重要なのです。

心理学者で『Think Again』の著者アダム・グラントは「謙虚になることが肝」だと言っています。「謙虚さは透過フィルターのようなもので、人生経験を吸収し、知識と叡智に変える。だが、傲慢さはゴムでできた盾だ。すべての人生経験を跳ね返してしまう」

間違いに気がつき、謙虚になり客観的に考えて改善を積み重ねると、より良い意思決定に結びつき、やがてかけがえのない経験知になるのです。

ところが、世の多数派はどうでしょう。間違えたくないし失敗したくないから、何も決めない。行動しなければ間違えることがなく、今以上に悪くなることもないだろうという考え方です。

アメリカ大統領のスピーチライターを務めた、作家のダニエル・ピンクはその著書の中で、「アメリカの詩人オグデン・ナッシュ

は行動したことへの後悔と行動しなかったことへの後悔の違いについて、長い詩を書いている。

『あなたの皮膚の内側に後悔の種子を埋め込むもの、それは二つ目の種類の罪、すなわち行動しないことの罪である』と、多くの中年期から老年期になり思い切って挑戦しなかったことを後悔している人の事例を挙げています。続けて、挑戦して悔いている人より挑戦せずに悔いている人が圧倒的に多いと述べています。

知の巨人と呼ばれているナシーム・ニコラス・タレブは、物事を「脆い物」と「脆くない物」=「反脆い」と分けて考え、例えばガラス=「脆い物」と捉え、安定的で静かな環境が必要で、かつ時の経過とともに崩壊していくために、時の経過を嫌うからだ指摘しています。

人間はというと、「脆くない物」として分類されつつも、中には「脆さを生み出す連中」=フラジリスタがいて、この人々が世の中のリスクを高めていると言います。それは、政治、金融、医療にも及んでいて、「医療のフラジリスタは、人体に備わる自然治癒能力を否定して過剰に医療介入し、とても重い副作用があるかもしれない薬を平気で処方する」としたうえで更に医療の過度の介入により、かえって医療により多くの病が発生する医原病の存在を強く指摘しています（例：サリドマイド、扁桃腺切除、高血圧薬）。ここに本来は「反脆い」に分類される「人間の体」が、「脆さを生み出す連中」により脆弱さに変性されることの問題を強く批判しています。

これは、医療といえども過度な介入が新たな問題を引き起こしているとの指摘ですが、リスクを避けるためには、受け身ではなく「当たり前を疑い」謙虚になり能動的に行動することに集約されるのです。つまり、何もしない、何も決めない、何も行動しないことは、最も人生のリスクが高いことを示しています。

…ということで、私も今日は仕事を早々に切り上げ、息抜きにいくという選択をすることにします。

アダム・グラント『Think Again』2021, 三笠書房
ダニエル・ピンク『The power of Regret』2023, かんき出版
ナシーム・ニコラス・タレブ『半脆弱性』2017, ダイヤモンド社



profile

櫻堂 渉 さくらどう・わたる

著書『生命予後が劇的に改善するセルフ透析』
ほかOasis Medical COO、
日本薬科大学 客員教授



Message

治療の効果を最大限に高めながら、患者さんの QOL を高めたい。Oasis Medical では、透析治療のグローバルスタンダード“進化した透析”で、活力のある人生を取り戻すサポートをします。

WAKE UP

REAL VOICE
Vol.04 企業編

「セルフ透析」を通して 「働き方改革」に踏み出そう！

透析患者さんの就業に関する課題解決に対してセルフ透析がどのような効果をもたらすのかをお示しすることで、透析のために仕事を辞めた方やセーブしている方への就業支援など、社会への参画を後押しするきっかけとなればと企業編として特別対談を企画しました。

透析患者さんを含む障害者の就業サポートに先進的に取り組むゼネラルパートナーズの森田健太郎氏をお迎えし、Oasis Medical COOの櫻堂渉と意見交換をしました。

森田 健太郎 氏

株式会社ゼネラルパートナーズ
atGP 事業本部・atGP キヤリア部門 部門長



「チャレンジしたいがそのチャンスがない。よりワクワク充実した働き方をしたい」と考えている方がより良い人生を送るために、就業面からサポート。また、「ワンステップ次に進んでより価値ある働き方がしたい」と願う方にサービス提供している。

櫻堂 渉

医療法人社団 Oasis Medical COO
alba lab 株式会社代表取締役



「透析は時間の制限があるけれど、もっと自分で生活をコントロールしたい。元気に仕事やスポーツを精力的にやりたい。普通に生活したい」と考えている方の問題解決のための選択肢のひとつとしてセルフ透析が認知されることを目指す。

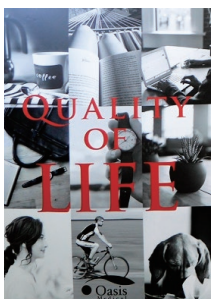
「株式会社ゼネラルパートナーズ」

2003年4月に設立された、雇用面から企業のダイバーシティ推進経営を促進するバイオニアであるベンチャー企業。障害者をお持ちの方専門の人材紹介事業、企業向けの障害者教育研修事業、就労移行支援事業（社会復帰のためのトレーニング）などを行っている。



「医療法人社団 Oasis Medical」

2020年8月に、標準的な透析医療から脱却し、透析患者さんのQOL（生活の質）向上を目的に日本初の「セルフ透析センター」（SDC）を開設。都内で透析クリニックを運営するとともに、自立した透析を受けてもらうためのコンテンツを通して当事者への知識提供も行っている。





櫻堂：障害者、透析患者さんの就業の現状についてお聞かせください。

森田：障害者雇用の現状は、2024年3月に障害者雇用促進法が改正され、企業の障害者法定雇用率が2.3%から2.5%に引き上げられました。さらに、2026年7月から2.7%まで段階的に引き上げられる見通しです。この改正は、障害者の社会参加の促進と企業の多様性推進を目的としています。しかし、実際には障害特性に合わせた業務の創出や環境整備が課題となっています。企業の雇用ニーズは高いものの、社員側は、本人と企業双方の社会的なさまざまな要因により、現行の環境に適應することが難しい現実があります。そんな中、腎機能障害をお持ちで透析をされている方は時間的制約が大きく、受け入れ側としては必要以上に配慮をしなくてはならないという先入観がある印象です。逆に、働く方にとっても、過剰に気を使われたり、重要な仕事が任せられにくいところに悩みを抱えてしまうという場面があり、それは大きな問題です。

櫻堂：いまのお話で、以前、孫正義氏（ソフトバンクグループ株式会社 代表取締役会長）が同社の年次総会で発言した、強く心に残っている言葉を思い出しました。「世の中から孤独をなくしたい」です。つまり孤独が一番怖いと。職業的な健康という表現を使いますが、これが損なわれることにより絆の崩壊が起こります。透析患者さんに就業の悩みについてインタビューをしたとき、絆の崩壊から孤独を感じると、次のような感情に陥ったと仰いました。「自分が透析患者だから、周囲の人は自分を腫れ物のように扱う。一方で、配慮してくれていることに対して辛いという感情を抱く自分は歪んでいる」と。

森田：障害者雇用における潜在的な問題は、心身が健康でも、障害者であるということが過剰にフォーカスされてしまうことが挙げられます。実は働けたり、能力があっても、なかなか機会が得られないため、職業的な健康が保たれないのです。

櫻堂：従来の標準的な透析は、寝て、腕を出して、穿刺や、機械操作をしてもらうという受け身の治療なのです。そうすると、患者さんの過度な医療依存の問題が発生するのです。これは患者さんや病院のせいではなく、従来からの医療システムの問題と考えます。本当は動ける人も自己コントロールが難しくなるのです。ところが

私たちの進めるセルフ透析システムは、穿刺も機器操作も、全部患者自身で行います。1カ月ほどのトレーニングを経て開始すると、作業の「自立」を超えて、生きることにも積極的になります。不満を口にせず、逆にセルフ透析に対して感謝の言葉をいただくことが圧倒的に多いですね。欧米ではとにかく自立するほうへ、自立するほうへという後押しが社会的にある感じがしますが、日本はまだ相当遅れていると思います。昨今は職種によってはテレワークも普及してきた中で、セルフ透析を利用して、透析中に仕事をされる方が増えてきており、需要は高まってきています。

森田：確かに、このセルフ透析という仕組みが広がることは、さまざまな働き方の選択肢を提供することにもつながるので、求職者、企業にとってプラスに働くと考えます。企業ないし職場が決めた仕事をただタスク（やるべき仕事）としてこなすのではなく、その人には何ができるのかを企業側、受け入れ側が整備することも役割かと思っています。企業としても、時代の変化とともに新しい知識、技術が必要になってきて、それを学んだとき、そこに双方のチャンスが生まれると思います。寝ても覚めても仕事をしたい人、あるいはワークライフバランスを保ちながら働きたい人、どちらかというライフ重視でコツコツやりたいという人など様々なニーズがあると思います。企業や社会が多様な選択肢を提供する重要性は高いのです。求職者のニーズはもちろん、どのようなスキルや能力を持った人を採用したいかを軸に、企業に多様な働き方が存在すれば、双方にとってプラスになるのかなと思います。

櫻堂：社会のダイバーシティ推進と、新しい透析のかたち、やっぱり私たちが先頭を切ってもっと広く伝えなくてはならないんですね。選択するかどうかは、本人次第ですので、まずは知っていただき、一步を踏み出していただくことがとにかく大事です。今回の対談が、どんどん就業を後押しするきっかけになることを願っています。ゼネラルパートナーズさんの理念である「誰もが自分らしくワクワクする人生を」という素晴らしい理念をはじめ、病気の状態でも社会に出ていけるんだということが広く伝わり、医療は治療だけを行うのではなく社会復帰をサポートすることが当たり前の中になるように私たちも励んで参ります。

このコーナーでは、人生を楽しく豊かにしてくれる「旅」「歴史」「科学」「エンターテインメント」など多彩な分野の情報をお届けします。読者からの寄稿も歓迎します。

地球は音楽だ！

私は現在、東京都交響楽団の年会員になっていて、年8回の公演を満喫しています。割引がある上に、毎回同じ固定した席で楽しめるのでおすすめです。ただ、プログラムは事前に告知されてはいても当日まで忘れることもしばしばですが。

これぞ！ 音楽鑑賞の醍醐味

まずは2時間たっぷり音楽に没頭できること。日常生活では音楽を流していても、たいてい「ながら聴き」で、音楽を聴いていることさえ意識しなくなってしまうことがほとんどです。少なくとも、「クラシック」のコンサート中は他のことはできないので、没頭せざるを得ない。心地よい音楽を子守唄に、前半の半分くらい寝入ってしまうこともあります。

そしてマエストロの派手なパフォーマンス。小さな仕草からはじまり、流れるような第一バイオリンのメロディーに、甘く重みのあるチェロの響き、そしてブラスの響きが重なって盛り上がっていきます。

突然訪れる沈黙、夜明けの鳥の囀りのように透き通ったフルートのソロが再び物語の始まりを告げるのです。さらに隣のフルートの音色が重なって膨らみを増したかと思うと、林間をわたる気まぐれな風のようにバイオリンの柔らかかで小刻みな響きが重なっていきます。

やがて主題となるメロディーが、次々と現れる。何十人という楽団員の演奏が、ピタッと重なり合って、奇跡のような演奏が繰り広げられていく感覚です。

いつも気になっているのが、1番後ろの高いところに控えている打楽器奏者。ティンパニーは出番を待つ間、神経質そうに顔を太鼓の皮につけて張り具合を調整している。シンバル奏者は、演奏中もじっと座り、トドメの一撃を放つ時を待っているかのようです。現代音楽の場合は、少し様子が変わり、どちらかというと打楽器奏者が忙しい印象です。古道具屋の店主のように、様々な鳴らし道具を自分の周りに配置して、その周りを飛び回るように移動して音玉を放つ。打楽器奏者のソロ演奏はまるでダンスのようなパフォーマンスです。マリimba奏者は、両手にそれぞれ3本のマレット（というらしい）を持ち、右左に移動して柔らかな手捌きで音を叩き出します。叩くというより、そこから響きが立ち上がるという感じです。その空気の振動は瞬間に空間に溢れ、聴き手の体までもが共鳴しているかのような錯覚を覚えます。バッハの敵か



で深遠なメロディーはマリimbaによく似合います。

ジャンルに関わらずライブ演奏は不滅

作曲家の故武満徹は著書『音、沈黙と測りあえるほどに』で、雅楽を聴いた時の印象を次のように記しています。

「これは何だろうか、これが日本なのだろうかと思いましたが、問題はヨーロッパの音楽からすればそれが雑音であるということです。雑音でなければ異質な主張です。そうだとすると、ぼくという日本人がつくる音楽は、これを異質な雑音からちょっとだけ解き放って、もっと異様であるはずの今日の世界性のなかに、ちょっとした音の生け花のように組み上げられるかどうかということなのです。このとき、日本という文化があまり人称にこだわらないということがヒントになりました。そう、人称なんていらぬのです。音が鳴るたびに「私は」「僕は」と言わないように音を並べたい。」

少し難しい表現ですが、でも美しい。現代の音楽はこのような感性を内包している、ということです。

クラシックといえば堅苦しく感じるかもしれませんが。私もクラシックの知識はほとんどありませんが、生演奏はパフォーマンスとしても楽しいし、演奏会の帰り道は、様々な思考も消え去り頭の中ではただ音楽が鳴っています。夜風が心地よく足取りも軽い。家に帰ってのビールがまたさらにおいしく感じるのです。

コロナ禍で一時演奏会がなくなりましたが、人が生きている限り、ジャンルに関わらずライブ演奏は不滅ではないでしょうか。そう、これまでもずっと祈り(祭り)と共に音楽があったように！

(佐藤 充則)



COOK BOOK

file 22

チキンの香草焼き

砂糖と白ワインで鳥肉をしっとり仕上げます。ビールもワインも美味しくなる簡単な一品です。

材料〈2人分〉

鶏もも肉	1枚	白ワイン	小さじ 1
じゃがいも	小 4 個	おろしにんにく	小さじ 1
ブロッコリー	2房	片栗粉	小さじ 2
プチトマト	4 個	砂糖	小さじ 1/2
ローズマリー	適宜	塩胡椒	適宜
レモン	1枚	醤油	小さじ 1
サラダ油	大さじ 1		

〔作り方〕

1. おろしにんにく、片栗粉、砂糖、塩胡椒を混ぜておく。
2. 鶏肉は厚いところを開いて全体の厚みを均一にする。全体にフォークで穴を開ける。皮目に 1. をまぶして 5 分おく。
3. ブロッコリーは洗ってサッと茹でてしっかり水気を切っておきます。
4. じゃがいもはきれいに洗って下茹でしてください。
5. フライパンにサラダ油を熱して皮目を下にして入れる。弱めの中火で皮がパリッとするまで 8 分程焼きます。プチトマトとブロッコリー、じゃがいもを加えローズマリーをのせ鶏肉は裏返してワインを回し掛け、3 分焼く。
6. 仕上げに薄切りレモンを 4 つ切りにしてのせ、醤油を入れ火をとめます。



ザクザクオートミールクッキー

思い立ったらすぐできる！バターなし、混ぜて焼くだけ簡単なクッキー。

食後に愉しむ
SIDE MENU



材料〈12個分〉

オートミール	70g
薄力粉	30g
砂糖	30g
塩	ひとつまみ
ミックスナッツ	20g
*粗みじん切りにしておく	
牛乳	大さじ 2
(もしくは豆乳かアーモンドミルク)	
油	大さじ 2
(こめ油、ピュアオリーブ油、ココナッツ油など)	

〔作り方〕

1. ボウルにオートミール、薄力粉、砂糖、塩を入れて混ぜ、油、牛乳、ミックスナッツを加えて混ぜます。
2. クッキングシートを敷いた天板の上で 12 等分し、厚さ 4~5mm 程度に広げます。
3. 180 度に予熱したオーブンで 20~25 分程焼き、オーブンから取り出してそのまま冷ませば出来上がり。



あなたに合う油は？

<p>こめ油</p> <p>抗酸化物質である ビタミンE など多く含む</p>	<p>オリーブ油</p> <p>悪玉 (LDL) コレステロールを抑制</p>
<p>ココナッツ油 (MCT)</p> <p>燃焼される際に 他の脂肪酸も燃焼</p>	

SPECIAL
TALKGYPSY JAPAN × Oasis Medical
オンライン生配信イベント開催決定!

9月号のこのページで、セルフ透析センターに通いながら元気に音楽活動を行うギタリストの青鹿賢一さんと当法人の代表の櫻堂渉の対談記事を掲載しましたが、その中で青鹿さんが透析をはじめた当時の様子や、なぜセルフ透析を選択して、どのように活用しているのか、また青鹿さんの今後の展開についてもお話を伺いました。そして、その対談がきっかけとなり、青鹿さん率いる GYPSY JAPAN と、医療法人社団 Oasis Medical とがコラボレーションし、YouTube 生配信ライブを開催することが決まりました!

セルフ透析をしながら精力的に音楽活動に励む青鹿さんの人生は、標準的な透析を受けている多くの透析患者さんにとって、とても刺激的であり、自分に合った透析ライフを考え、築いていくうえで参考になるものでした。同時に私たちは今後、透析を「自分で選択」する社会が一般的になれば、透析のためにやりたいことを諦めるのではなく、透析を行いながらも自分の人生を楽しく有意義に使うことができる人が増えるのではないかとの思いを強くしました。

というわけで青鹿さんとジブシー jazz を愛する2人のお仲間による、自然体で哀愁漂い、日本的な魅力が詰まった GYPSY JAPAN の音楽で、希望とともに楽しいひと時をお届けすることになりました。

超絶技巧のジブシーイングを堪能しよう!!

小田：ついに、GYPSY JAPAN と Oasis Medical のコラボレーションイベントに向けて走り出しました。ありがとうございます!

青鹿：こちらこそ、ありがとうございます。よろしくお願いたします!

小田：ぜひたくさんの方に GYPSY JAPAN の音楽を聴いていただきたいと思います。皆さんに向けてグループの特徴をお伝えいただけますか?

青鹿：メンバーそれぞれでオリジナル曲をたくさん作っているところです。

ジブシーイングは、創始者であるギタリスト "ジャンゴ・ラインハルト" (1910 ~ 1953) の作品やジャズのスタンダードナンバーのカバー曲を弾く方が多い印象です。GYPSY JAPAN は、それに加えてメンバーそれぞれが影響を受けてきた音楽を融合したオリジナル曲に力を入れています。もうひとつは、ジブシーイングの編成はリードギター、リズムギター、ベースと役割を固定するグループが多いのですが、私たちは曲によってそれぞれがリードをとります。ですので、オリジナル曲も

三者三様のパフォーマンスも楽しんで頂けるかなと思います!

小田：以前 GYPSY JAPAN のライブを観に行ったときは、ジャズ初心者の中でも魅了されて、感動を覚えました。本誌の読者に向けて、ぜひ11月17日のイベントの見どころをお聞かせください。

青鹿：初めてジブシーイングを聴く方でも楽しんで頂けるよう、ジャズの有名曲も入れながら、オリジナル曲も組み込んでいこうかなと考えています。歴史のある音楽ですが、その雰囲気はもちろん、メンバーが影響を受けてきたロックをはじめ様々な音楽のエッセンスもお楽しみいただけるかと思います。ぜひ多くの方に聴いて頂きたいと思っています!

オンライン
生配信ライブ
11.17 (日) 14:00~

お申込み方法は、双方のHPやSNSで公開してまいります。

もちろん「Oasis Heart」でも紹介してまいりますので、続報をお見逃しなく!

「GYPSY JAPAN オフィシャルホームページ」
<https://www.gypsyjapan.com/>

グループ公式HP



1st アルバム
「Trio」
好評発売中!



GYPSY JAPAN
ギタリスト

青鹿 賢一さん



1980年東京都生まれ。2003年ヤマハ大人の音楽教室ギター・ウクレレ講師となる。2015年ジブシーイングギタートリオ "GYPSY JAPAN" 結成2枚のアルバムを発売中。現在、都内近郊を中心にライブ活動中。Oasis Medical とのイベントも実現に向けて企画中!

GYPSY JAPAN と Oasis Medical の
YouTube 生配信ライブを開催します!

オンライン生配信ライブ

2024年11月17日(日)

14:00 スタート

視聴リンクは続報にてお届けします!

お問い合わせ

TEL 03-3823-9080

編集後記

本号の4~5ページでは急遽、障害者雇用促進企業のパイオニアである(株)ゼネラルパートナーズ社のキャリア部門長、森田健太郎氏と当 Oasis medical 代表、櫻堂渉との対談を企画しました。就業意志があるのに、透析を受けているために就業を諦めた方の悩みはどんなものなのか、また就業を阻む企業や社会、医療システムが抱える問題、課題は何なのかをめぐって、二人の間で踏み込んだ意見交換が展開されました。本企画を通して「もっとチャレンジしたい」という透析患者さんたちの社会参画のきっかけが広がり、悩みの解決にとどまらず、共生・協働と持続可能な社会の創出につながっていくことができれば、との思いを改めて強くしました。(編集部)